

## 東アジアの多言語教育を考える日本語教育・韓国語教育 合同国際コンソーシアム

### 1. 概要

本プログラムはグローバル化に伴う東アジア共同体の形成とその際に求められる多言語教育のあり方を考える日韓合同の国際コンソーシアムである。

まず（韓国における）第二言語としての韓国語教育研究と、（日本における）第二言語としての日本語教育研究との交流を通じ、相互の教育研究を学際的に深化させることをめざし実施された。

さらに、上記の成果もふまえて、東アジアにおける多言語学習、多言語教育のための教育のあり方について模索し、多言語教育専門家養成プログラムや、両校による日本語教育、韓国語教育の複数学位プログラムの構築について検討した。

期間は平成24年2月下旬からの1週間で、本学大学院日本語教育コースと梨花女子大学国際大学院韓国語教育専攻、教育大学院教育学科外国語としての韓国語教育専攻などの大学院生による合同国際コンソーシアムの形態で行われた。



**主催：** 比較日本学教育研究センター（日本語教育学部会）、グローバル教育センター、日本語教育コース

**期間：** 2012年2月26日（日）～3月4日（日）

**参加者：** (日本側)  
日本語教育を専攻とする大学院生 11 名 (各発表 30 分)  
教員：森山新教授 (グローバル教育センター長、比較日本学教育研究センター日本語教育学部会長、日本語教育コース教授)、西川朋美助教 (日本語教育コース助教)

(韓国側)  
韓国語教育を専攻とする大学院生 12 名 (各発表 30 分)  
教員：金榮圭副教授 (梨花女子大学校国際大学院韓国学科)  
李恩珠副教授 (梨花女子大学校師範大学英語教育科)

**発表内容：**

- 第二言語としての日本語・韓国語の習得に関するもの
- 第二言語としての日本語・韓国語の教育に関するもの
- 多言語習得・教育に関するもの
- 東アジアの言語政策に関するもの
- その他、日本語教育・韓国語教育に資するもの

**使用言語：** 日本語、韓国語、英語

## 2. 日程

26 日 (日) 入国、入寮

27 日 (月) 1 日目 発表準備

28 日 (火) 2 日目 (人間文化棟 508 号、共通講義棟 1-101 号室)

10:00 開講式 講演「グローバル時代と東アジアがめざすべき多言語教育」(森山新)

13:00 発表

13:00 小林智香子

13:30 石暁文

14:00 Cho Eun Young

14:30 Jun Kyung Sun

15:10 Kwon Keun Tug

15:40 Jung Hyeran

16:10 魏艾玲

16:40 趙あきこ

18:00 歓迎会 (大学食堂)

29 日 (水) 2 日目 (共通講義棟 1-101 号室)

10:00 講演「Becoming a wiser consumer of research in the field of applied linguistics」  
(金榮圭)

11:00 講演「外国語教育での字句解析とコーパス」(李恩珠)

13:00 発表

13:00 Kwon Yu Jin

13:30 Oh Solsaem

14:00 加藤直子

14:30 Nguyen Van Anh

15:10 Sim Hoyeon

15:40 Kim Gayeon

16:10 チョナレ

16:40 黄明淑

1 日 (木) 3 日目 (共通講義棟 1-101 号室)

11:00 今後の交流に対する打ち合わせ

13:00 講演「Age effects in second language acquisition」(西川朋美)

12:00 発表

12:00 Lee Eun-Ha

13:30 Jang Ji Young

14:00 菅生早千江

14:30 金秀恵

15:10 Heo Songnan

15:40 Park Yu Jin

16:10 王亜茹

18:00 送別会 (大学食堂)

### 3. 院生の発表題目

お茶の水女子大学	
小林智香子	TV 会議システムを用いた日韓国際遠隔授業に対する評価と学び —文化を取り入れた総合的日本語教育のために—
石暁文	中国語を母語とする日本語学習者の「きっと」の習得研究
魏艾玲	The Use of Language Learning Strategies in Multilingual Learners
趙あきこ	L2 子供の文構造の発達
加藤直子	使用基盤モデルの観点からの第一言語としての日本語習得研究
Nguyen Van Anh	使用基盤モデルからみる学習者の日本語習得—場所を表す格助詞の場合—
Cho Narae	韓国語を母語とする日本語学習者の補助動詞テクルの習得研究：母語における対応表現の影響について(한국인 학습자의 일본어 ‘~てくる’ 습득과 한국어 대응 표현 ‘아어 오다’의 영향)
黄明淑	「誘い」談話における中日対照研究：「終結部」の言語行為に着目して
菅生早千江	助詞の誤りに対するリキャストとメタ言語フィードバックの認識：刺激回想インタビューの分析を通して(How do intermediate learners of Japanese perceive recasts and meta-linguistic feedbacks that are provided to inappropriate utterances of particles? -- An analysis of stimulated recall interview)
金秀恵	助数詞「本」の意味構造とその習得

王亜茹	中国人日本語学習者における複合動詞意味理解方略の実態
梨花女子大学校	
Cho Eun Young	在日外国人留学生の論文作成教育のための韓国語学位論文の抄録部分のジャンル分析研究
Jun Kyung Sun	ジャンル分析を基盤とした論文「序論」教授研究：大学院韓国語教育専攻修士留学生を対象として
Kwon Keun Tug	ジャンル分析を基盤とした論文「研究方法」教授研究：大学院韓国語教育専攻修士留学生を対象として
Jung Hyeran	ジャンル分析を基盤とした論文「結果」ン部分の教授研究：大学院韓国語教育専攻修士留学生を対象として
Kwon Yu Jin	グループ単位の Feedback 提供訓練が韓国語の作文に与える影響について：中級成人学習者を対象に
Oh Solsaem	意味交渉が韓国語慣用語の習得に及ぼす影響
Sim Hoyeon	A Study on Understanding Emotional Idioms of Chinese Learners in Korean
Kim Gayeon	A Method of Vocabulary Education for Married Immigrant Women by Using Children's Newspapers
Lee Eun-Ha	Relationships of Cognitive and Affective Individual Difference Factors to L2 Achievements and Proficiency of Learners of Korean
Jang Ji Young	Teaching Strategies for Inferring L2 Word-Meanings from Contextual Clues: Effects on Incidental Korean Vocabulary Acquisition and Reading
Heo Songnan	Qualitative Research on Korean Language Classes in the Vocational Training for Descendants of Koreans in Mexico
Park Yu Jin	韓国語教育におけるアプリケーションとソーシャルメディアの役割と活用事例